

震災を忘れない、震災から学ぶ



校長 前田 裕司

先日、教え子が企画したピアノコンサートへ行ってきました。

2011年3月の東日本大震災と、2020年熊本県を中心とする豪雨被害とともに浸水被害

に遭い、復活した「奇跡のピアノ」と「希望のピアノ」が共演するコンサートです。音楽のすばらしさ、人を勇気づける力を感じるとともに、東日本大震災の後に支援に行った気仙沼の中学校の校長先生が言っていた「震災を忘れない、震災の教訓を活かすこと、いかにして人の命を落とすことなく被害を最小限にとどめるかが大切なことである」という言葉を思い出しました。

その当時、気仙沼の中学校の3年生が書いた作文を紹介します。

リスタート

伊藤 大輔

夜空を赤く染め、燃え上がる^{ししおり}鹿折の町、立ち上がる黒煙の中、飛び交う火の粉。次々と何かが爆発する音が響いてきます。あの震災の日、僕は生まれ育った町が消えていくのを呆然と見ていました。そんな中、体育館では、避難してくる大勢の人々で混乱していました。停電のため、暖をとるストーブもなく、毛布が1枚あるだけ。病人やお年寄りもいて、着の身着のまま逃げてきた人々が、寒さに震え、身を寄せ合っています。

僕は何かできないかと思い、また少しでも気分を紛らわせたい気持ちもあって、ペットボトルにお湯を入れた湯たんぽを配ることにしました。お年寄りや子供に優先的に配っていると、「湯たんぽまだ？ さっきからずっと待ってただけど。」という、苦情にも似た言葉が聞こえてきます。「はい、すぐ持っていきます。」とは言ったものの、(みんなのためを思って持ってきてやってるのに、感謝されるならともかく、なんでこんなことを言われなくてはならないのだろう。)というわだかまりが僕の心に残りました。



それからおよそ1か月後、学校が始まりました。みんなと会えるのはうれしいのですが、体育館は避難所、校庭は仮設住宅の用地となり、活動できる範囲が制限されるようになりました。こんな状況では例年通りの行事などではできません。僕たち執行部は悩みました。教室では「今年は行事ないの?」「去年やった企画、今年もやってよ。」と、みんなは生徒会長である僕に、いろいろなことを言ってきます。「みんなのために頑張っているのに、勝手なことばかり言って…」とつい不満が出てしまいます。

僕の家は津波で流されたので、今はアパートを借りて生活をしています。以前に比べて部屋は狭くなりましたが、家族と話をする時間はかなり増えたように思います。「みんな勝手なんだ。不満や要望を言うだけで、何もしてくれない。おれたちも頑張っているのに…」と、いつものように僕が家族に学校の様子を話していた時です。家族の前で不満をぶつける自分と、自分に要望を言ってくる同級生の姿が、重なって見えたのです。みんなもやり場のない気持ちを聞いてもらいたかっただけなんだと、僕はこの時に気づいたのです。そして、震災の時に僕の心に残った「わだかまり」についても考えてみました。(ボランティアでやっているとは言いながら、あの時の僕は「みんなのためにしてやっている」というような、どこか上からの目線でいたのではないだろうか。だから、ちょっとした言葉が「わだかまり」になっていたんだ。)と反省しました。

人は心にあるつらいこと、苦しいことをただ聞いてもらうだけで、気持ちが楽になることがあります。僕も家族に話すことで心が軽くなりました。さらに、僕の不満を聞いてくれる家族から、同じ立場に立って物事を考える大切さにも気づかされました。今回の震災は、多くの命や思い出を奪い去ったつらく悲しい出来事でした。しかし、この震災によって、僕たちは今までの生活を見つめ直し、これからの生き方を考える機会を得ました。

今後は、僕たちが力を合わせて頑張る番です。今、生徒会の一員として自分たちでできることは、同じ目線に立って、知恵を絞り、意見を出し合って協力していくこと。また、学校そして伝統というものは、こうやってつくっていくんだというプロセスを後輩に伝え、残していくことだと思います。

「リスタート」。これは再出発という今年度の生徒会年間テーマです。僕たちは、このテーマのもと、生徒・保護者はもちろん、避難所や仮設住宅の人々も交えた新しい行事を考えています。生徒一人ひとりが自分にできることを考え、実行に移していけば鹿折中学校から地域に元気を発信していくことができます。学校から地域に広がる未来、これが僕たちの「リスタート」です。



この前の連休にも地震がありました。阪神淡路大震災を経験した私にとっては、あの揺れはすぐに当時の状況を思い出させ、心臓がバクバクします。備えを怠らないとともに、この作文を読み返してみると、コロナの中で生活している現在の我々にも共通しているところもあります。制限のある学校生活ではありますが、今月の終わりにはゴテフェスがあります。皆さんの歌声には周りの人へ元気と勇気を与えてくれる力があります。それぞれが自分の力を出し、周りとの協力する中でゴテフェスの成功へつなげてほしいと思います。

10月の学校行事						17:30下校開始(～10月31日)					
1	土	中体連新人大会(剣道・卓球)	17	月	合唱練習開始						
2	日		18	火	市内英語祭 市内一斉防犯活動						
3	月	面談週間	19	水							
4	火		20	木							
5	水		21	金	⑤⑥2年生「トライやる発表会」						
6	木		22	土	市内駅伝大会						
7	金	↓ 体操服登校最終日	23	日	中体連新人大会(サッカー) 本校会場						
8	土		24	月	オープンスクール、全学年リハーサル						
9	日		25	火	↓ PTA人権学習会						
10	祝	スポーツの日	26	水	午後 ゴテフェス準備						
11	火	⑤⑥3年生「生命の尊さ講座」	27	木	ゴテフェス(合唱・ステージ) 弁当						
12	水	生徒会専門委員会	28	金	↓ ゴテフェス(ステージ・生徒会企画・展示) 弁当						
13	木	⑥全校集会(体育館)	29	土	中体連新人大会(サッカー) 本校会場						
14	金		30	日	中体連新人大会(サッカー) 本校会場						
15	土		31	月	第1回選挙管理委員会						
16	日										



御殿山中生の活躍

コーラス部

第77回関西合唱コンクール

〈第75回全日本合唱コンクール 関西支部大会〉

中学校部門 混声合唱の部 金賞

宝塚市中学校総合体育大会 新人大会

男子卓球部

団体戦 準優勝

個人戦 第5位

宝塚市中学校総合体育大会 新人大会

男子バスケットボール部

優 勝

第38回阪神中学校陸上競技大会

男子

三段跳【共通】第3位 11m22

砲丸投【共通】第3位 9m33

円盤投【共通】第3位 24m94

女子

円盤投【共通】第3位 23m53

男子ソフトテニス部

団体戦 優 勝

個人戦 優 勝

第3位

男子硬式テニス

ダブルス 第3位

